

先生各位

新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、このたび新たに下記項目の受託を開始することになりましたのでご案内申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《受託開始日》 平成 22 年 7 月 1 日（木）受付分より

《検査要項》

検査項目名称	lgG サブクラス IgG4
検査コード	6731
検体量	血清 0.4 mL
容器・保存	A1 A2・冷蔵
実施料（判断料）	400 点（免疫）
所要日数	4 ~ 6 日
検査方法	ネフェロメトリー法
基準値	4.8 ~ 105.0 mg / dL

保険収載名称：IgG4

保 険 注 釈：ネフェロメトリー法による。

《解 説》

免疫グロブリンの一つである IgG は化学的性状や生物学的機能が異なる 4 つのサブクラスにより構成されています。そのサブクラスである IgG4 は血清中総 IgG 濃度の 3 ~ 4 % 程度を占めています。

自己免疫性膵炎では通常高 グロブリン血症や高 IgG 血症が認められますが、2001 年に Hamano らにより硬化性膵炎において、多くの症例で高 IgG 血症が認められることが報告され、疾患との関連性が注目されています。特にわが国では自己免疫性膵炎の多くが IgG4 関連硬化性膵炎の病像を呈しているとされており、その判定基準が厚生労働省研究班/日本膵臓学会による「自己免疫性膵炎臨床診断基準 2006」にも収載されています。